

# 白山市発達相談センターだより

第 7 号  
H30年3月  
発 行



## 白山市発達相談センターとは…

白山市では、発達障害などで乳幼児期や学齢期のお子さんの発達について悩んでいる保護者の方をはじめ、就労や人間関係などのつまずきを抱えている方の相談に応じ、保健・教育・福祉・就労・医療関係部署と連携をとりながら、発達障害の早期発見と継続かつ一貫した支援を行っています。

なお、このおたよりには、主に平成29年10月から2月開催の講演会等の内容を載せてありますので、どうぞご覧ください。

## 10月



③ 「(幼児期編)「幼児期編 気になる子ども達～どう受け止め、どう理解し、どう関わるか～」

③ 講師 日本ポージング協会 小坂 正栄(こさか まさえ) 氏

③ 内容 気になる子ども達について、どのような子が気になるのか、タイプ別に具体的に説明いただき、その後、気になる子への支援について、障害者差別法等にも触れながら、事例を交えて講義いただきました。  
『変えられないのは他人と過去。変えられるのは自分と未来 自分が変わればいつの間にか…良い方向に向いてゆく』



### 参加者の声(保護者)

※「少しの応援、少しの手助けが自信につながる」等、今回も心に響く言葉がたくさんありました。今後も成功体験を増やしていきたいです。一番の理解者で一番の応援者であると思い、子どもに接しています。

※子どもが苦手としていることをどう支援していったらいいのか分からなかったが、手指の動きが苦手という事だけでなく、それまでに至る体の発達にも、これからは目を向けていこうと思えるようになった。

### 参加者の声(支援者)

※子どもの将来(例：自ら仕事を選んでできるように)を見据えていろいろな手立てをしていくことで子どもの未来が広がることを教えていただけでよかった。大事なことがすぐ見えてとても良かった。

※気になる子の項目に「注意が特に多い子、慣れないことへの抵抗が強い」など。気にとめていなかったことも項目に入っていてびっくりした。分かりやすい説明で時間があつという間だった。



# 11月

## 「ミュージック・ケア」

講師 日本ミュージック・ケア協会 認定指導者 吉田 茂樹(よしだ しげき)氏



20組を超える親子が参加され、音楽の特性を生かした多彩なプログラムと一緒に楽しみました。



### 参加者の声

♪子どもが楽しそうににこにこしていたので、また、参加したいです。  
♪去年に続き、2回目の参加でした。子供の成長が見られました。子どもが集中できることが分かってよかったです。  
♪こどもと一緒に楽しい時間を過ごせました。

# 11月



## 「基礎編 ADHD～医師の立場から～」

講師 公立松任石川中央病院

精神科・神経科医師 武藤 宏平(むとう こうへい)氏

内容 ADHDの定義や最新の治療法、また性疾患等の合併症との関係について、医師ならではのお立場からご講義いただきました。治療の際は、「本人がどのくらい困り感があって受診されるのか?」「人に促されての受診では、なかなか治療が続かない。」「治療には動機づけが左右する」とのことでした。



### 参加者の声

☆ADHDの基礎が学びました、また、発達障害が他の障害が重なる事、注意を受け続けることで自尊心を傷つけてしまうなどが分かりました。だからこそ、ほめてあげたり、分かりやすい言葉で落ち着ける環境力が必要なことを感じました。

☆学会でのお話など、最新のことも含めながらお話していただけてよかったです。

# 11月

## 映画①「ぼくはうみをみたくありません」

内容 自閉症の青年が教えてくれた大切なこと・・・。  
心がすこし優しくなれる感動のストーリー



平成30年4月2日(月)  
も上映会を企画しています。  
是非、ご覧ください!!

## 映画②「幸せの太鼓を響かせて ～INCLUSION～」

内容 知的を伴う方々が小さいころから慣れ親しんでいた太鼓。その太鼓を仕事として選び、現在プロの和太鼓奏者として活躍する姿が描かれています。プロならではの厳しさに立ち向かう姿も目に焼き付きます。





## 就学サポート相談会「わが子を知ってもらうための申し込み書を作ろう！」

**内容** 子どもが就学後、望ましい支援や配慮を受けられよう、保護者自身が就学する学校の先生に対して、わが子の特性を学校へ伝える申し送り資料を作成するための説明会を行いました。



### 《作成の留意点》

- ① 字数が多すぎると、本当に伝えたいことが薄れていく可能性があるため、簡潔に大きくまとめて書くことがポイント
- ② 項目は3つ程度とし、箇条書きにすることが理想
- ③ 「できないこと」を伝えるよりも、「上手くいっている」支援の内容を優先して盛り込むよう心がける
- ④ パニックなどの場面が予想される場合は、絶対に避けてほしい対応を盛り込んでおく

### 参加者の声（就学サポート相談会より）

- ♥申し込み送り書の見本をもとにした説明は、イメージしやすく、とても分かりやすかった。
- ♥保護者の側、学校の側、両方の立場や心理面をふまえて申し込み書を作るという説明がとても参考になった。
- ♥申し込み送り書を通じて、わが子を再認識して今後につなげたい。



## 「発達障害のある人の就労について」講演会&当事者の体験談

講師 石川県発達障害支援センター 心理判定員 山下 いつみ 氏

### 第1部 当事者の体験談 第1弾【おっちょこちょいでも一緒に働きたい人って?】

『発達障害だから・・・を理由に「できない」というのではなく、発達障害とちゃんと向き合い、自分なりに努力しないとね』と、発達障害 YouTuber・みっと氏。

発達障害を受容され、自ら工夫をされ、発達障害の特徴とともに上司や仲間にも丸ごと受け入れられているお話は、社会人として誰にも共通する大事なヒントを教えてくださいました。



YouTuber みっと氏の公式ホームは  
<https://www.adhd-room.com/>

### 第2部 講演会「発達障害がある人の就労について」

「福祉サービスを利用しない就労」と「福祉サービスを利用しての就労」について、事例を交え、分かりやすくお話いただきました。「就労継続するために必要なこと」、「小さい時からの積み重ねの大切さ」などを学ぶ好機となりました。

### 第3部 当事者の体験談 第2弾【訓練を経て障害枠で就労された方の体験談】

スモールステップを踏み現在の仕事に至った経緯や今の仕事の内容、一人暮らしの良い事悪い事、余暇の過ごし方などについてお話いただきました。



参加者の声は次のページに続くよ。







### 参加者の声（当事者）

- ◎一人暮らしをして、就職もされて、ただただ、すごいなと思いました。
- ◎様々な立場の人、経験をしてきた人のお話や意見を聞いて、これからの心構えの参考になりました。

### 参加者の声（保護者）

- ◎今後も当事者の方のお話を聞ける機会があるとうれしく思います。いろいろな方がいること、いろいろな就労形態があることが分かり、また小さな頃から支援を受けることの重要性を改めて感じました。

### 参加者の声（支援者）

- ◎当事者の方のお話が、特に楽しかったです。世の中が偏見を外し始めたんだなぁと感じました。

## 2月



### ❧ 「発達支援ネットワーク連絡会」を初めて開催！！

- ❧ **内容** 幼児期から学齢期を中心に支援に関わる行政や、小学校・保育所等各関係機関が一同に会し、発達支援の中身や連携について、共通認識できる機会となりました。

### 参加者の声（小学校）

- ◎学校現場にて、「発達障害」の社会的認知と保護者の正しい理解が深まるよう、今回のネットワーク体制作りが必須であり、行政が市民に向け、本気で発達障害の周知・理解を得る取り組みをしてほしい。各関係機関がシームレスにつながり、保護者の安心・信頼を得ることが大切だと考えています。
- ◎小学校でも支援を要する児童が増えている。知的に遅れのない発達障害の場合は、保護者の受容につながりにくく、不登校などの二次障害になっているのが現状。早期支援の方法を進めてほしい。

### 参加者の声（保育園等）

- ◎発達支援ネットワーク体制が年々充実していることが分かった。幼児期から保育所等と連携していることで、幼児や保護者の理解が進んでいることもよく分かった。
- ◎発達相談センターには、園での困り感をたくさんサポートいただきありがとうございます。今後は、年数回巡回といった形で相談できる機会があるとありがたい。

## 平成30年度講演会等のお知らせ

当センターでは、「発達障害」の理解を深めるための講演会を今年度も継続開催いたします。特別講演会を7月、10月に予定しております。また、対象者別の講演会や啓発事業も多数企画していますので、ぜひ、この機会に参加ください。

なお、講演会等案内リーフレットを作成中（4月完成）ですので、お楽しみに！！

白山市発達相談センター  
〒924-0865  
石川県白山市倉光八丁目 16 番地 1  
Tel076-276-8819 Fax076-276-6291  
白山市発達相談センターだよりは  
白山市ホームページからダウンロードできます。



はっちゃんから一言  
次回の発行は、平成  
30年9月頃予定だよ♪  
またね！